

決済動向

— 平成9年1月 —

(平成9年3月10日)

1. 日本銀行における決済関連計数

1月の日銀当座預金受払(受払合計、1営業日平均)は、件数ベースでは3.2万件(前年比+7.0%)、金額ベースでは324.2兆円(同+4.5%)となった。金額の内訳をみると、当座預金振替等は302.5兆円(前年比+4.8%)、民間の集中決済制度にかかる資金決済は15.3兆円(同+2.7%)となった。

1月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録(片道ベース、月中合計)は、件数ベースで8.0万件(前年比+42.9%)、金額ベースで227.0兆円(同+61.5%)となった。また、日本銀行における振済国債の口座振替(片道ベース、月中合計)は、件数ベースで4.2万件(前年比+12.0%)、金額ベースで200.8兆円(同+1.9%)となった。

1月の国庫金取扱高(受払合計、1営業日平均)は、件数ベースで54.1万件(前年比+5.0%)、金額ベースで5.1兆円(同△1.1%)となった。

1月の日本銀行における銀行券受払高(月中合計)は受入高12.4兆円(前年比+10.3%)、支払高5.3兆円(同+2.0%)となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱件数・金額をみると、1月の手形交換高(東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均)は、枚数ベースでは47.9万枚(前年比△1.8%)、金額ベースでは5.2兆円(同△9.8%)となった。

1月の全銀システム取扱高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは424.0万件(前年比+7.4%)、金額ベースでは9.4兆円(同+7.6%)となった。

1月の外為円決済交換高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは4.4万件(前年比+6.6%)、金額ベースでは41.7兆円(同+17.6%)となった。

3. その他

1月の東京金融先物市場の取引数量(円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均)は7.9万契約(前年比△36.7%)、月末の建玉数量は155.4万契約(同+13.3%)となった。

1月のSWIFT総送信件数(本邦分、月中合計)は229.5万件(前年比+13.4%)となった。

(信用機構局)